

地震はいつ、どこで起こるかわかりません。今からいろいろな準備をしておきましょう。



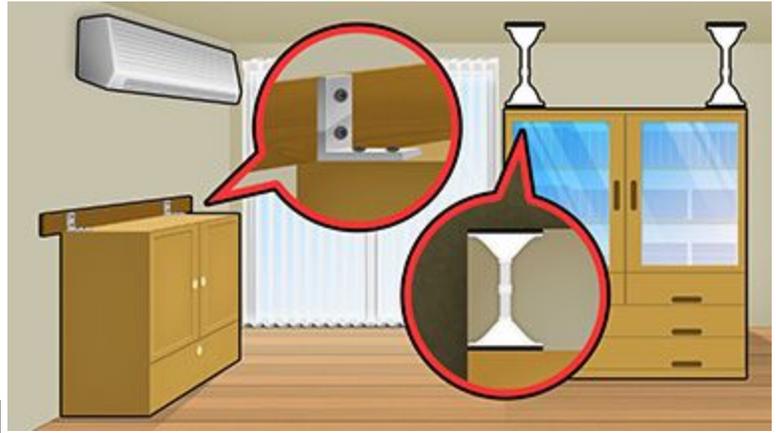
【水や食べ物などを準備しておきましょう】

大きな地震が起こると、いつもと同じ生活ができなくなるかもしれません。電気が止まったり、水道の水やガスが出なくなったりすることがあります。道が通れなくなって、スーパーなどの店に品物が来なくなることがあります。このため、料理しなくても食べることができる物などを準備しておきましょう。水は1日に1人2Lぐらい必要だと言われています。

電池などで動くラジオや懐中電灯が使えるかどうか、調べておくことも大切です。家族にお年寄りや赤ちゃんがいる場合は、必要な物も準備しておきましょう。家から避難するとき、必要な物をすぐに持って行くことができるように、かばんなどに入れておきましょう。

【地震で家が壊れないようにしましょう】

地震で家が壊れないようにしておくことはとても大切です。1995年の阪神・淡路大震災では、家が壊れて多くの人亡くなりました。特に、1981年より前に建てた家は建物の強さが十分ではないかもしれません。家を建てるときのルールが今より厳しくなかったためです。専門家に調べてもらって、必要があったら建物を強くする工事をしてください。多くの市や町などでは、家を調べたり工事をしたりするときにかかるお金の一部を出しているため、相談してみよう。



【家の中でけがをしないようにしましょう】

本棚などの家具や冷蔵庫、テレビなどが地震で倒れたり動いたりしないようにしておくことも大切です。家具が倒れて、亡くなったりけがをしたりする危険があるからです。Lの字のような形の金具を使って家具を壁に付つけて、家具が動かないようにしましょう。壁に金具を付けることができない場合は、家具と天井の間に「突っ張り棒」という棒を入れるやり方もあります。テレビや家具の下に置いて、動きにくくするマットや、窓ガラスなどに貼って、ガラスが割れても周りに飛ばないようにするフィルムも役に立ちます。寝る部屋やお年寄りの部屋には、大きな家具を置かないようにすることも大切です。家の中が安全かどうか、もう一度チェックしましょう。